

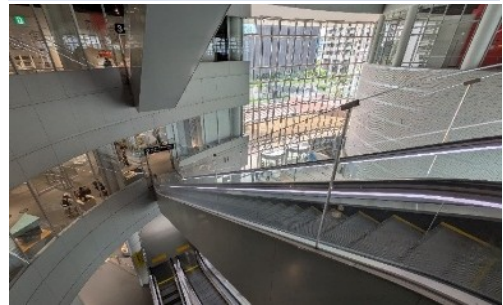
ばんば親子と歩こう2・・・第3回 A班（第1木曜日）

## 大阪市立科学館で科学を楽しむ！

作成：A2班広報担当



- ・実施日：2026年7月2日（木）
- ・参加者：33名
- ・12時50分現地集合、館内自由見学
- 14時プラネタリウム
- 15時現地解散



大阪市立科学館は1989年にオープンした楽しい科学の展示場です。まず始めに4階まで昇り、4階：科学の探究→3階：物質の探求→2階：みんなで楽しむサイエンス→1階：サイエンスラボへと内部の大きな吹き抜けをエスカレーターで降りながら自由に見学しました。

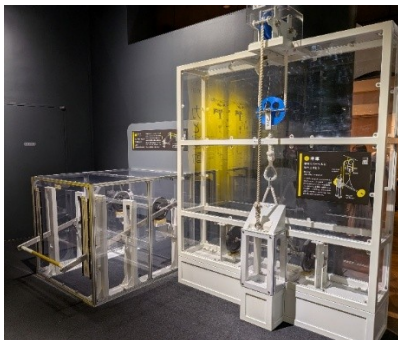
その後は、全天周映像システムを導入したプラネタリウムで、大阪の星空と宇宙を楽しみました。哲平先生から大阪市立科学館にまつわる逸話もお聞きし、楽しい一日となりました。



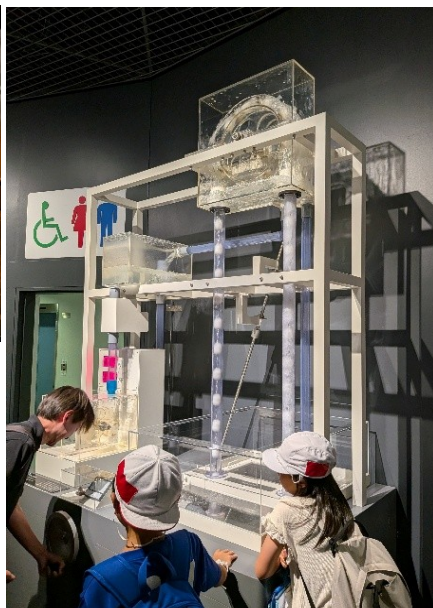
入館する時にエミューに追いかけられました！  
（入口横の展示：3Dイリュージョン・エミュです）



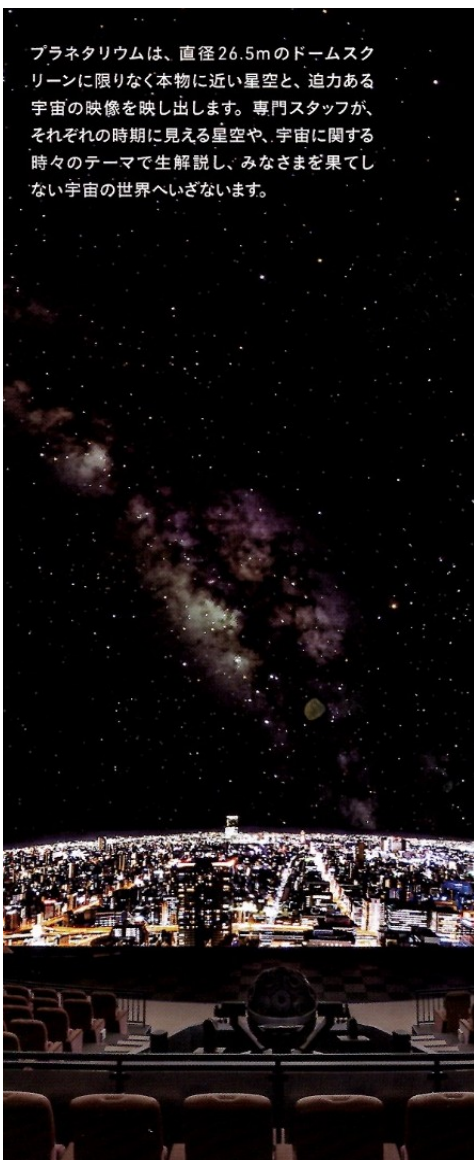
4階は「科学の探究」フロア。「私たちの宇宙」、「大阪と科学」、「科学の歴史とあゆみ」をテーマに、体験展示や実物資料を通して紹介されており、時間を忘れて没頭できるフロアでした！



NASAが開発した最新鋭のロケットを見たり、水力発電の仕組みを体験したり、「てこ」や「滑車」の原理に触れることができました。見学の時間が短かったので、また来ようと思いました！



いよいよプラネタリウムです。直径26.5mのドームスクリーンは日本最大級とのこと！迫力ある映像と立体音響による臨場感あふれる神秘的な宇宙を体験しました！



プラネタリウムは、直径26.5mのドームスクリーンに限りなく本物に近い星空と、迫力ある宇宙の映像を映し出します。専門スタッフが、それぞれの時期に見える星空や、宇宙に関する時々のテーマで生解説し、みなさまを果てしない宇宙の世界へご案内します。

科学館の前身は1937年に開館した日本初のプラネタリウムを有する大阪市立電気科学館。当初は「電気ショールーム」でオープンする予定が、「電気に関する知識と未来を展示する場」に方向転換！総工事費は当時の価格で192万円、その内プラネタリウム投影機は69万円との事。尚、現在のプラネタリウムのドームスクリーンは残念ながら日本一の大きさではなく、日本一は名古屋市立科学館の直径36m！



初代のプラネタリウム投影機！ドイツ製のカルツアイスⅡ型で、1937年から1989年の52年間で延べ1100万人が星空を楽しんだとの事です。大阪市指定有形文化財や日本天文遺産に指定されています！

1989年開館当時は中之島のこの界限には何もなく、科学館だけがポツンと建っていました。大阪大学医学部跡地の中之島再開発の先駆けだったんですね！

「大阪市立科学館 館内案内パンフレット」より